

箴言結晶の学び#9: 祈りの霊をもって箴言を読むことは、私たちにとっての金塊と宝石となって、私たちのキリストを追い求める生活を強め、神のエコノミーを完成する

3/29-4/4 **OL Summary:** **I.** 箴言は賢い者の言葉の集成したものです。それは人が神と接触することを通して神から受ける知恵を強調し、また人がどのように振る舞い、人の生活の中でどのように性格を建て上げるかを教えます:

A. 箴言は律法の時代に、おもに二人の王(ソロモンとヒゼキヤ)によって集成されたので、箴言は律法の補助と見なされることができます。**B.** 律法は神の描写です。そのようなものとして、それは神の民がそれを守ることを要求します。それは、彼らが神の複写とされ、神を表現し、神の栄光を現すためです。**C.** 箴言は律法の補助として、人がどのように神の属性にしたがって、すなわち、神が何であるかにしたがって振る舞い、どのように自分自身を建て上げるかを教えます。**II.** 箴言にはある特徴があります。すなわち、それは多くの古代の賢い者たちによる知恵の言葉を私たちに提示しています。箴言を読むすべての人々は、この書が良いことをみな一様に認めています。しかし、私たちが認識しなければならないのは、箴言が私たちにとって何であるかは、私たちがどのような人であるか、また私たちがどのような方法で箴言を受け入れるかにかかっているということです。**A.** もし私たちが強い思いを持つ倫理的な人であり、真に道徳的な人として完全でありたいという願いを持っているなら、確かにこの書は私たちを助けて、完全さを追い求めることにおいて成功させるでしょう。しかしながら、それは神の霊にしたがって私たちの霊の中で生きる人となるよう私たちを助けるものではありません。**B.** 私たちは箴言に来るとき、私たちの霊の中で祈ることによって、思いから霊に向きを変える必要があります。私たちがこのようにして箴言に来るなら、新しい人によって御言に触れるようになります。そして、私たちが生きる生活は、天然の人、古い人、自己によるのではなく、私たちの霊の中に生きている私たちの命またパースンである主イエスによるのです。**C.** 私たちは自己修養を拒絶し、旧創造の中にある天然の人を建て上げることを罪定めしなければなりません。そして新創造の中にある再生された人として、その霊と共にある私たちの霊を活用して、祈りの霊の中で言葉と接触することによって、箴言に来なければなりません。それによって、箴言の言葉は、私たちにとって霊また命となります。**D.** 私たちは新約の信者として、箴言が神の聖書における聖なる言葉の一部分であることを信じるべきです。詩篇の作者は、「私はあなたの戒めに両手を挙げて、それを愛し」(詩119:48)と言います。神の言葉に私たちの両手を挙げることは、私たちがそれを熱心に、喜んで受け入れ、それに対してアーメンと言うことを示すことです。

E. 箴言は神の息であって、私たちが吸い込んで、神から命の供給を受けるためです。聖書は神の息吹き出したものです。私たちがどの節でもすべての祈りによって読むとき、このように祈り読みすることは、私たちが神の息を吸い込むこととなります。**F.** 私たちは箴言を、私たちの霊の中で神の豊満をもって満たされることによって読むべきです。さらに、新約の命の霊の中で、私たちの再生された霊をもって、祈りと私たちの読むことをミングリングして、言葉を霊また命とミングリングすることによって箴

言を読むべきです。**III.** 神のエコノミーによれば、金塊のような、箴言の原則や、宝石のような、箴言の細則は、私たちが古い人を建て上げるためではありません。そうではなく、それらは、私たちが新しい人を建て上げ、キリストを追い求める私たちの生活を強めて、神のエコノミーを完成するためです。この事は、キリストのからだを生み出し建造して、神の心の願い、また究極の目標である新エルサレムを究極的に完成します。**A.** 私たちは祈りの霊をもって、神の生きていて効力がある言を受け取る必要があります。それによって、私たちは、私たちの新しい人を建て上げることができ、また私たちの霊と魂を識別することができます。**B.** 私たちは文字を守る者としてではなく、神を尋ね求める者として箴言に来るべきです。私たちは、心を尽くして神を追い求める者、神の御顔の表情を懇願することによって神の恩恵を求める者、神の御顔を自分の上に輝かしてくださるよう神に求める者、神の臨在の中を歩く者であるべきです。

IV. エペソ4:22~24が私たちにはっきりと告げていることは、キリストにある信者には二人の人(古い人と新しい人)がいるということです。古い人は私たちの天然の誕生を通してアダムに属しており、新しい人は新しい誕生、再生によってキリストに属しています。私たちは、古い人を脱ぎ捨てて新しい人を着る生活をする必要があります。神のエコノミーによれば、箴言は私たちの古い人を修養し建て上げるためではなく、私たちの再生された新しい人を修養し建て上げるために用いられるべきです:

A. 神のエコノミーにしたがって箴言の内在的な意義の中へと入るために、私たちは新創造にしたがって生きている人たちである必要があります。旧創造はアダムにある私たちの古い人、私たちの生まれながらの天然の存在であり、神の命と神聖な性質を持っていません。新創造はキリストにある新しい人であり、その霊によって再生され、神の命と神聖な性質が造り込まれており、キリストをその構成要素としており、新しい構成となっている、私たちの存在です。**B.** 私たちの霊の中には、驚くべき、すばらしい、手順を経た、すべてを含む、七倍に強化された、命を与える霊がいます。私たちが霊を活用して、神の書かれた言葉の中で神の生ける御言としてのキリストと接触するとき、彼はその霊として私たちに適用された神の言葉となります。そのとき、私たちが聖書の中のどの言葉を読んでも、それは私たちにとって霊と命となり、私たちを復興します。**C.** 私たちは聖書を、自己修養し、天然の人を建て上げるよう教えているように見える書から、実際には光、命、霊、霊的な養いに満ちている書へと変える必要があります。それは聖書を祈りの霊とその雰囲気の中で受け取ることによってです。このことは私たちの自己を取り壊し、私たちの天然の人を砕いて、私たちに三一の神の究極的に完成された霊を供給します。

V. 私たちは次のような人とならなければなりません。それは、自己の完全さではなく、主を愛してキリストを追い求め、全聖書の主の言葉を愛し、祈る霊をもってそれを読み、文字の教理ではなく、命の霊と言葉を尋ね求める人です。私たちが箴言を、自己修養の助けを得るためではなく、私たちの霊を養うために読むべきです。それは私たちが、神聖な属性の表現である神聖な美德において完全であるクリスチャン生活をするためです。

CP1: ミングリングされた霊を活用し、御言葉に来る時、箴言の言葉は、私たちにとって霊また命となる

OL1: 旧約において、ヨブは自分の高潔さ、人の完全さを追い求めることで満足していました。しかしそれは、神が彼から求めていたものではありませんでした。むしろそれは、神が彼から求めていたものに置き換わり、神の敵となってしまう、神によって創造された人としてのヨブが神の定められた御旨を完成するのを妨げました。神の定められた御旨は、ヨブが神を獲得して、神の栄光を現し、神を表現することでした。神に対する最高の奉仕は、私たちが神を極みまで獲得して、神で満たされ、神を表現して、神の栄光を現すことです。

OL2: 私たちは自己修養を拒絶し、旧創造の中にある天然の人を建て上げることを罪定めしなければなりません。そして新創造の中にある再生された人として、その霊と共にある私たちの霊を活用して、祈りの霊の中で言葉と接触することによって、箴言に来なければなりません。それによって、箴言の言葉は、私たちにとって霊また命となります。箴1:1-4 ソロモンの箴言。これは、知恵と教訓を知らせるため、英知の言葉を識別させるため、知恵の行ないを得させ、義、公正、そして公平の教訓を得させるため、単純な者に思慮を与え、若い人に知識と分別を与えるためである。詩119:48 私はあなたの戒めに両手を挙げて、それを愛し…。

Ⅱ テモテ3:16-17 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。ヨハネ6:63 命を与えるのはその霊である。…私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

大部分のクリスチャンは今日、その霊と命の新約を文字の旧約にしてしまいました。使徒パウロにとっては旧約でさえ、その霊と命の新約のようでした。あまりにも多くのクリスチャンが新約を、格言、教訓、勧告、文字の教えとしています。私たちのライフスタディは、神の御言としてのすべての旧約を、霊と命の書にしています。これによって私たちが認識しなければならないのは、箴言が私たちにとって何であるかは、私たちがどのような人であるか、また私たちがどのような方法で箴言を受け入れるかにかかっているということです。

私たちは新約の信者として、箴言が神の聖書における聖なる言葉の一部であることを信じるべきです。私たちは、箴言が神の息であって、私たちが吸い込んで、神から命の供給を受けるためであることを認識すべきです。次に、私たちは箴言を、私たちの霊の中で神の豊満に満たされて、新約の命の霊の中で、私たちの再生された霊をもって、祈り読みして霊また命とミングリングすることによって読むべきです。

私はわずか数分の主との交わりの後、食物にあずかり、養われ、かき立てられると証しすることができます。そして私が聖書に来るとき、あらゆる言葉が宝石となります。私たちはみなこのように箴言を読む必要があります。そのとき箴言のあらゆる言葉が、私たちにとって霊と命となります。あらゆる言葉は生きて宝石となり、キリストを追い求める私たちの生活を強め、キリストのからだを生み出し建造し神のエコノミーを完成します。

適用:新人及び青少年・大学生編

兄弟の証し: 私は救われた当時、主は私が道徳的な良い人になることを助けて下さると考えていました。そして、良い人になるために、もっと頑張らなければならないと考えていました。私が良い人になることは、神のエコノミーではないことを理解していませんでした。

召会は毎年、大学生の私たちを台湾ブレンディングに連れて行ってくれました。台湾の諸召会の兄弟姉妹は、霊が強く、霊の中で喜んでおり、主を自然に表現していました。私は、「なぜこんなに違うのだろう?」と考えていました。帰国して、私は台湾の兄弟姉妹ができて日本の私たちができないというのはおかしい話なので、「何かを変えれば私たちも彼らのようになれるはずだ」と考えましたが、その時はその回答を見いだせませんでした。

そんな時、ロサンゼルスブラザーズ・ハウスに1ヶ月間、留まる機会がありました。その時、中高生の集会に参加しました。若い中高生たちは以下の三一の神の詩歌をエンジョイしていました。私は三一の神を理解しようと努力していましたが、彼らはただこの詩歌を大声で賛美し、享受していました。

1. The Son with the Father by the Spirit - O what mystery!
The fullness of all the Godhead dwells in Him bodily.
Wonderful One, Son with the Father,
Wonderful One, Son by the Spirit, Wonderful Jesus Christ,
Wonderful Triune, Wonderful Triune God.
7. And in his enthronement as Head over all things,
The processed God is He,
Dispensing Himself as the life-giving Spirit, producing His Body.
The Triune God is not for doctrine.
The Trinity is for dispensing. He's now dispensing,
And we're enjoying, and we're enjoying Him.

日本語訳: 神は手順を経た神であり、命を与える霊としてご自身を分与し、からだを生み出します。
三一の神は教理のためではありません。三一は分与のためです。神は今、分与しています。私たちは享受しています。私たちは神を享受しています。

この時、神のエコノミーは私がキリストを享受することであると私は認識し始めました。主を享受すれば、主を表現することや主のために機能することが、自然に出てきます。しかし私はあまり享受なしに、奉仕をしていましたので、度々苦しくなり、行き詰っていました。

Ⅱ コリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。
FN: この節は、神格の三一が、組織神学の教理的理解のためではなく、三一における神ご自身が、選ばれ贖われた人々の中へと分与されるためであることを、強く証明します。

祈り: おお主イエスよ、神の定められた御旨は、私が神を獲得して、神の栄光を現し、神を表現することです。そのために私は毎日神の言葉を享受する必要があります。聖書を読むとき、文字の律法を読むようにではなく、自分の霊を活用して、祈りの霊をもって御言葉に來ます。その時、旧約聖書の言葉も私には霊また命となります。大声で霊を活用して主の名を呼び、詩歌を歌います。主の中でいつも喜んでいてくださいます。アーメン!

CP2:神の言葉を祈りと願い求めによって受け、ネヘミヤのように神の言葉に立ってそれに従って祈ることを学ぶ

OL1:箴言のすべての言葉は、神の息吹いたものです。それは完全にキリストの中に具体化されています。私たちは箴言を読むとき、神が息吹き出したすべてのもの、神が息吹いたすべてのものを吸い込む必要があります。私たちは箴言の中の神聖な息を吸い込むことによって、語る神の息を受ければ受けるほど、ますますキリストを享受します。**OL2:**イスラエルの子たちは、戒め、おきて、規定を守るように命じられましたが、今日私たちはキリストを保持する必要があります。私たちは、キリストを取り入れ、キリストを保持し、キリストにしっかり結びつくことによって、彼を獲得し、彼を享受し、彼を生きます。私たちはキリストを愛し、キリストを保持し、キリストを教え、キリストを着て、キリストを書く必要があります。**OL3:**聖書は神の息吹いたもの、神の息吹き出したものであるのです。私たちはすべての祈りによって、箴言を含む神の言葉を受け取ることによって聖書を吸い込むべきです。私たちは聖書を教えているとき、神を人の中へと吹き込んでいるべきです。エペソ4:22-24 以前の生活様式において、あの欺きの情欲によって腐敗している古い人を、脱ぎ捨ててしまったのです。そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。Ⅱテモテ3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。エペソ6:17-18 また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽し、このために目を覚ましていなさい。

私たちは聖書に来るとき、この認識を持つ必要があります。私たちが聖書を学ぶのは古い人によってであるか、それとも新しい人によってであるかです。多くのクリスチャンは天然の方法で、古い人にしたがって御言を学んでいます。...もし私たちがただ思いを活用して御言から知識を得るだけなら、古い人によってそれを読んでいきます。新しい人によって聖書を読むことは大いに異なります。聖書に来る前にさえ、新しい人の中の人は彼の霊を活用して主と接触します。彼は告白してこう言うかもしれません、「主よ、私はあまりにも多く古い人の中で生きており、あなたの新創造の一人として私の霊を活用してあなたと接触し、新しい人によって生きていないことをすまなく思います。主よ、この罪を赦してください」。私たちはこのように聖書に近づき、私たちの霊を活用するとき、神に近づき、神に触れ、神と接触しているという深い感触と感覚を持ちます。

例えば、私はヨハネ3:16を読んでこう祈ったことを覚えていますが、「おお、神よ、あなたに感謝します。あなたはそれほどまでに世の人を愛してくださいました。おお、私の父なる神よ、あなたはあなたのひとり子であるあなたの御子を賜ったほどに、私を愛してくださいました」。私には、私が神に触れ、神も私に触れてくださったという感覚がありました。私の祈りを通して、ヨハネ3:16は私にとって霊また命となりました。

適用:奉仕者編

Ⅱコリント 3:6 神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、その霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。

あなたが聖書を、人を規制する律法の本であると考えたと、聖書の文字はあなたを殺します。しかし、あなたが自分の霊を活用し、聖書の中の霊に触れるなら、聖書はあなたにとって、霊となり、命を与えます。

エペソ6:17 さらにその霊の剣、すなわち霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、この御言葉は、聖書の言葉を受け取る最上の方法は、祈りと願い求めによって受け取ることを示しています。御言葉を霊の中で祈りながら受け取ることが祈り読み(Pray-reading)です。以下は、ネヘミヤの祈り読みの事例です。ネヘミヤは神に祈る時、神の言葉に立ち、それに従って祈りました。そして、神はご自身の言葉によって拘束されました。ネヘミヤ 1:8 どうか、あなたのしもべ、モーセに命じて言われた言葉を思い起こしてください、『あなたがたが忠信でないなら、私はあなたがたを人々の間に散らす。9 しかし、あなたがたが私に立ち返り、私の戒めを守って、それを行なうなら、たとえ、あなたがたの散らされた者が天の果てにいたとしても、私はそこから彼らを集め、私の名を住まわせるために、私が選んだ場所に連れ戻す』。10 彼らはあなたのしもべ、あなたの民であって、あなたが大いなる力と強い御手によって贖われたのです。11 おお、主よ、どうか、あなたのしもべの祈りと、あなたの御名を畏れることを喜ぶあなたのしもべたちの祈りに、耳を傾けてください。どうか今日、あなたのしもべを榮えさせ、この人の前であわれみを得させてください。

以下はダニエルの祈り読みの事例です。彼は捕囚の期間が70年であるとのエレミヤの預言を理解し、祈りました。ダニエル 9:2 私ダニエルは、預言者エレミヤに臨んだエホバの言葉、すなわち文書によって、エルサレムの荒廃の満了の年数は、七十年であることを理解した。17 私たちの神よ、今、あなたのしもべの祈りと嘆願を聞いて、主のために荒れ果てたあなたの聖なる所の上にあなたの御顔を輝かせてください。18 私の神よ、あなたの耳を傾けて聞いてください。あなたの目を開いて、私たちの荒廃と、あなたの御名によって呼ばれている町をご覧ください。私たちがあなたの御前に嘆願しているのは、私たちが行なったどのような義なる行ないによるのでもなく、あなたの大いなる深い同情によるのです。19 主よ、聞いてください! 主よ、赦してください! 主よ、聞き入れて事を行なってください! 私の神よ、あなたご自身のために遅らせないでください。あなたの都とあなたの民は、あなたの御名によって呼ばれているからです。

祈り:おお主イエスよ、聖書の言葉を受け取る最上の方法は、祈りと願い求めによって受け取ることです。自分の霊を活用し、聖書の中の霊に触れるように祈り読みをし、神の御心に触れる祈りをするを学ばせてください。ネヘミヤは神に祈る時、神の言葉に立ち、それに従って祈りました。そして、神はご自身の言葉によって拘束されました。ネヘミヤのように御言葉を祈り読みし、神の御心に触れ、御心の成就のために祈ります。アーメン!

CP3:私たちの最大の問題は、魂と霊を混合することで
ある。神の御言葉は魂と霊を分離することができる

OL1:敵の戦略は常に、私たちの霊と魂を混合することで
す。私たちの最大の問題は、私たちの混合です。私たち
は、神の光、臨在で満たされることによって神を認識す
ればするほど、ますます能力よりも純粋さを尊ぶようにな
ります。**OL2:**そのような混合を除き去る方法は、聖霊
の啓示を通してです。魂と霊を切り離すことは、神の言
葉が私たちを照らし、私たちの内側で輝いて、私たちの
心の思考と意図を明らかにするとときに起こります。**OL3:**
私たちが神の言葉から、神の照らしの下で見るものは何
であれ、光によって殺されます。クリスチャンの経験にお
ける最大の事は、光から来る殺しです。魂と霊を切り離
すことは、照らしから来ます。**ヘブル4:12** なぜなら、
神の言は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣より
も鋭く、魂と霊、...を切り離すまでに刺し通して、心の思
考と意図を識別することができるからです。**FM魂と霊を
切り離す:**私たちの魂は、私たちの自己です。主に従う時
私たちは自分の魂、自己を否まなければなりません。私
たちの霊は最も深い部分であり、神に触れる霊的な器
官です。再生されるのは、私たちの霊の中です。聖霊
が住み、働かれるのは、私たちの霊の中です。私たちが
キリストと彼の恵みを享受するのは、私たちの霊の中
です。ですから本書の著者は、魂にとどまってさ迷っ
てはならない、魂は否まなければならないものであると、
ヘブル人信者たちに勧告したのです。彼らは霊の中へと
前進して、彼を享受すべきでした。**OL4:**啓示とは、神が
見ているものを見ることです。それは、神が私たちの目
を開いて、私たちの意図、また私たちの存在の最も深み
にある思考を、神が見ているように見せることです。神
が私たちの思考を暴露し、私たちの心の意図を私たちに
見せるとすぐに、私たちの魂は、私たちの霊から分離さ
れ、切り離されます。**OL5:**祈り読みすることなしに、箴言
は単に格言の集成にすぎません。しかし、私たちが祈り
をもって箴言を読むとき、すなわち、箴言を祈り読みす
るとき、私たちの祈り読みすることは、すべての格言を、
私たちにとって霊と命の言葉とならせます。**OL6:**私たち
の霊の中には、驚くべき、すばらしい、手順を経た、すべ
てを含む、七倍に強化された、命を与える霊がいます。
私たちが霊を活用して、神の書かれた言葉の中で神の
生ける御言としてのキリストと接触するとき、彼はその霊
として私たちに適用された神の言葉となります。そのとき
私たちが聖書の中のどの言葉を読んでも、それは私たち
にとって霊と命となり、私たちを復興します。**II テモテ
1:6-7** 私があなたに思い起こさせたいのは、...あなたの
内にある神の賜物を、再び燃え立たせることです。とい
うのは、神が私たちに賜ったのは、臆する霊ではなく、
力と、愛と、冷静な思いとの霊であるからです。**ヨハネ
1:1** 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神で
あった。**OL7:**私たちは聖書を、自己修養し、天然の人
を建て上げるよう教えているように見える書から、実際
には光、命、霊、霊的な養いに満ちている書へと変える
必要があります。それは聖書を祈りの霊とその雰囲気
の中で受け取ることによってです。このことは私たち
の自己を取り壊し、私たちの天然の人を砕いて、私たち
に三一の神の究極的に完成された霊を供給します。

適用:ビジネスパーソン・奉仕者編

あなたは霊と魂を切り離すために、神の言葉を祈り
読み、光によって照らされ、殺される必要があります。
例えば、あなたは会社や召会の奉仕の中で苦手な人
がいます。あなたは、「謙虚と柔和を尽くし、辛抱強さ
をもって、愛の中で互いに担い合いつつ、平和の結合
するきずなの中で(エペソ4:2-3)」、その人に接するべき
です。そのために、先ず自分の魂の中の、人と和解し
ない要因、分裂する要因である怒り、軽蔑、嫉妬、競
争心などを御言葉の光により暴露していただき、殺して
いただく必要があります。あなたは主の照らしに開き、
自分の罪を告白する必要があります。そして十字架の
殺しを経験した後、その霊の分与が来ます。エペソ4:2
~3の人性の美德である謙虚、柔和、辛抱強さ、愛、
担い合い、平和の結合するきずなはすべて、神聖な
属性を入れて、神聖な属性によって強められ、引き上
げられる必要があります。神聖な属性はすべてその霊
の中にあります。ですからこのような場面で、主の御名
を呼び求め、神聖な分与を受けて、人間関係を改善し
てください。サタンの原則は分裂ですが、神の原則は
一(Oneness)です。召会は平和の結合するきずな(the
uniting bond of peace)を持っているので、職場や召会
の奉仕で和解し、結合する力を経験してください。

霊を活用して御言葉を祈り読む時、あなたは御言
葉の中のその霊に触れ、照らし、殺し、分与を受けま
す。そして、**誤解⇒理解、拒否⇒受け入れ、怒り⇒同情、
高ぶり⇒謙虚、摩擦⇒和解、焦り⇒辛抱強さ、分裂⇒
平和の結合するきずな**などの変換を経験できます。

兄弟の証し:私は33から57歳まで、外資系の医薬品・医
療機器の会社で働きました。医療機器は厚生労働省
(厚労省)が規制するビジネスです。日本人は規制を重
んじるので、規制にほとんど柔軟性がありません。この
ゆえに米国の医療機器会社は厚労省を強く批判する傾
向がありました。また、厚労省は外資系会社をあまり信
用していませんでした。このような状況で、日本法人の
薬事担当の幹部は正しく機能せず、米国本社に対して
は厚労省を批判し、厚労省に対しては米国本社を批判
していました。私はその逆を実行し、両者が協力でき
るように働きかけました。米国本社では、厚労省の良い話
をし、厚労省には米国本社の良い話をし、「日本の医療
を改善するということでは究極のゴールは同じです」と説
明しました。そして、米国本社から多額の投資を引き出
すことができ、厚労省が望んでいた臨床試験を複数実
施することができました。結局、厚労省の協力の下で、
私の入社3年後に、新しい医療技術を導入することで、
日本一の会社にすることができました。これは、召会生
活で実行している「平和の結合するきずな」をビジネス
に適用した結果でした。祈り:おお主イエスよ、私の中に、
人と和解しない要因、分裂する要因である怒り、軽蔑、
嫉妬、競争心などがあります。これらが御言葉の光によ
り暴露されたら、罪を告白して、神聖な分与にあずかり
ます。霊を活用して御言葉を祈り読みし、御言葉の中
のその霊に触れ、照らし、殺し、分与を受け、誤解⇒理解、
拒否⇒受け入れ、怒り⇒同情、高ぶり⇒謙虚、摩擦⇒
和解、焦り⇒辛抱強さ、分裂⇒平和の結合するきずな
への変換を経験し、人間関係を改善します。アーメン!